

まちかどニュース

市内各地の最近の話題や名所・旧跡を紹介します。



広報とちぎをスマホやタブレットに毎月配信。広報紙アプリ「マチイロ」をご利用ください。



鉄造薬師如来坐像 (重要文化財)

西方町金井にある鉄造薬師如来坐像は、建治3年(1277年)に造られた鉄造彫刻です。鎌倉時代における鉄仏の代表作ともいわれ、国の重要文化財に指定されています。普段はお堂の中に納められていますが、重厚な威厳と品位溢れるその表情で、西方地域を静かに見守っています。

▼お堂の外観



▲薬師如来坐像と十二神将像

**令和2年度に実施した都賀地域会議
地域予算提案事業を紹介します**
令和2年度は①つがの里活性化事業、②運動場ベンチ購入事業、③児童安全対策事業を行いました。①はつがの里のハス池の整備とふるさとセンター女子トイレの洋式化、②は都賀市民運動場等のベンチの買い替え、③は都賀地域の小学校の登下校時に見守り活動をしてくださっている方々が使用するタスキの配布を行いました。

▶①トイレ洋式化



▶③タスキの配布



▶②ベンチ購入



◀三色棒や50音カードを作成



▶出来上がった50音カード

**岩舟地域ますます元気サポーター
定例会議**
2月19日(金)に遊楽々館において、岩舟地域ますます元気サポーター定例会議が開かれました。ますます元気サポーターは、栃木市の介護予防ボランティアとして養成され、地域のはつらつセンターやいきいきサロンなどで活動を行っています。今回の定例会議では、簡単な体操や認知症予防に使用するためのグッズを作成しました。

タラヨウ苗木の引渡し式

入舟町の(仮称)文学館(旧市役所別館)の東側、「ハガキの木」として地域の皆様に親しまれてきました「タラヨウ」の木。樹勢が落ちて倒木の恐れがあったため、栃木農業高校が取り組んでいる「グリーンバンクとちぎ」の協力を得て、世代交代を進めています。2月24日、生徒たちが大切に育ててきた苗木が、市に引き渡されました。当面は鉢のまま育て、ある程度生長したら、文学館のシンボルツリーとして敷地内に植樹します。



▲佐久間健也さん(2年)から苗木が手渡されました
栃木農業高校の生徒たちが9か月間育ててきました▶



わたらせ大学で講話と落語

1月14日(木)、前野木町教育長の中野晴永先生を招き、第1部「コロナ禍に考える我々熟年世代の出番」と題しご講話いただきました。コロナ禍で今までは違う生活スタイルになり、様々な制約の中で暮らしていく上での考え方をお聞きしました。第2部は「京家夢の助師匠」として、今年の干支にちなんだ古典落語「牛ほめ」を披露していただき、会場は参加者の笑いで包まれました。



◀第1部の講話の様子



◀第2部では落語家に変身



▲桜峠にある案内板

桜峠の山桜
奈良時代に、中央と地方をつなぐ重要な幹線道路として整備された「東山道」大平にある馬不入山と晃石山の間の峠には表東山道と裏東山道の連絡路があり、そこは沢山の山桜が咲いたことから「桜峠」と呼ばれ、その場所は今でもハイキングコースの人気スポットとして親しまれています。



▶桜峠を望む

働き方と暮らしに真価を。

場所や形という概念に囚われない、新しい働き方や新しい暮らし方が生まれつつあります。長さ37mの平屋の社屋は輸送用コンテナを利用し、木造では通常5ヶ月間を要する工期を2ヶ月間で短縮。固定の席を持たないフリーアドレスや、コミュニティを重視したオープンなワークスタイルを取り入れ、創造力を発揮できる場所に。働き方も、暮らし方にも新しい価値をプラスできる、そんな環境を丸和住宅はつくってまいります。



New workstyle of MARUWA!!



MARUWA JYUTAKU
丸和住宅
住所 〒328-0043
栃木県栃木市地町23-26
TEL.0282-24-5777

※2021年2月22日撮影
(実際の写真)